

## ユーザ管理 — オプション

### 1. ユーザオプション

ユーザーオプション	メールアドレスオプション	パスワードオプション	ユーザーノートの履歴
ユーザーオプション			
ユーザー登録の許可	<input checked="" type="checkbox"/>	いいえ	
新規ユーザーを登録するグループ	- Registered		
ゲストユーザーのグループ	- Guest		
パスワードの送信	<input checked="" type="checkbox"/>	いいえ	
新規ユーザーアカウントの認証	管理者		
管理者にメールを送信	<input checked="" type="checkbox"/>	はい	
CAPTCHA	グローバルを使用 (- 選択なし -)		
ユーザープロフィール編集	<input checked="" type="checkbox"/>	表示	
サイトの言語	<input type="checkbox"/>	非表示	
ユーザー名の変更	<input type="checkbox"/>	いいえ	
2段階認証を実施	<input type="checkbox"/> いいえ		
少なくとも1つの2段階認証プラグインを有効にする必要があります。			

サイトへの「ユーザー登録」に関する設定

「登録済ユーザー」への許可項目の設定

- ・**ユーザ管理を許可する**：「はい」に設定した場合、ユーザーは、ログインモジュールにある「アカウントの作成」リンクを使用してサイトのフロントエンドから登録できます。(右図のリンク表示)

デフォルトは「いいえ」ですが、これは「アカウントの作成」リンクは表示されません。 **「重要」(いいえ、を推奨)**

**Login Form**

Username

Password

Remember Me

[Create an account](#)

[Forgot your username?](#)

[Forgot your password?](#)

- ・**新規ユーザー登録グループ**： ユーザーがサイトに登録するときにデフォルトでユーザーに割り当てられるグループ。デフォルトは **Registered** です。
- ・**ゲストユーザーグループ**： ゲストに割り当てられるグループ。(ゲストは、ログインしていないサイトへの訪問者です。) これはデフォルトで「公開」です。これを別のグループに変更すると、サイトにはゲストには表示されるが ログインしているユーザーには表示されないコンテンツを作成することができます。別紙「ゲストユーザーとは」参照
- ・**パスワードを送信する**： 「はい」に設定すると、ユーザーの最初のパスワードが登録メールの一部としてユーザーにメールで送信されます。デフォルトは「いいえ」。 **\*はい、は避けたほうがいい。**
- ・**新しいユーザーアカウントのアクティベーション**：
  - 〈なし〉ユーザーアカウントはすぐにアクティブになり、アクションは不要です。**「要注意」**
  - 〈自己〉ユーザーはアクティベーションリンクが記載されたメールを受け取り、ユーザーがアクティベーションリンクをクリックすると、アカウントがアクティベートされます。**「要注意」**
  - 〈管理者〉ユーザーはアクティベーションリンクが記載されたメールを受け取ります。ユーザーがこのリンクをクリックすると、サイト管理者にメールで通知され、サイト管理者はユーザーのアカウントをアクティブにする必要があります。
- ・**管理者にメールを送信**： 上記で〈なし〉または〈自己〉の場合、管理者に電子メール通知を送信します。

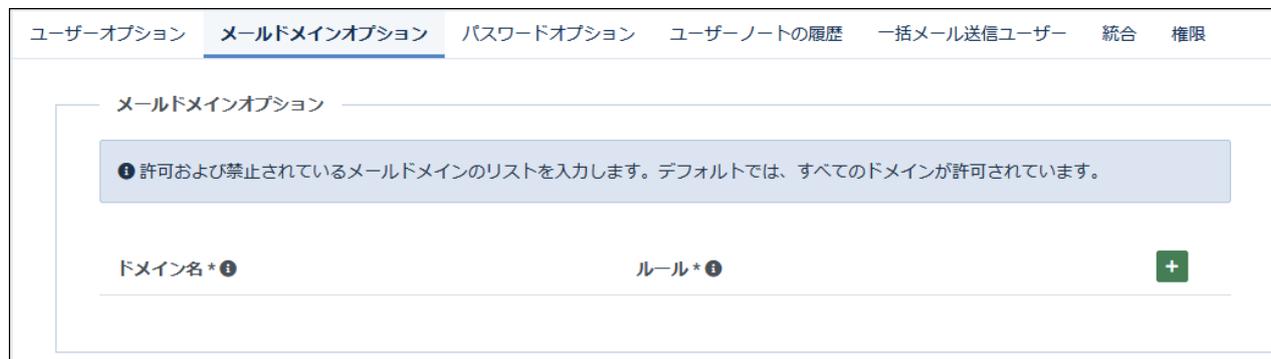
**「最低限 必要機能」**
- ・**キャプチャ**： ユーザーアカウントの登録とユーザー名またはユーザーパスワードのリマインダーにはキャプチャを使用する。
- ・**フロントエンドユーザーパラメータ**： 「表示」にすると、ユーザーはサイトのフロントエンドから言語、エディター、およびヘルプサイトの設定を変更できます。**「非表示」**にすると、ユーザーはこれらの設定を変更できません。
- ・**フロントエンド言語**： デフォルトのサイト言語。
- ・**ユーザー名を変更**： ユーザーがユーザー名を変更できるようにします。(自分で自分の名を変える設定)

**「利用者管理の点から考慮すべき項目。要 注意」**
- ・**二段階認証を行う**：

## 2. メールドメイン オプション

許可するEメールドメインと禁止するEメールドメインの一覧を入力します。

デフォルトでは、全てのドメインが許可されます。



### ・ドメイン名

ドメイン名を入力してください。ワイルドカード(\*)がサポートされています。

例: \* すべてのドメインを許可または禁止;

\*.com : すべての.com ドメインを許可または禁止;

\*.joomla.org : joomla.org のすべてのサブドメインを許可または禁止します。

### ・ルール

ユーザが登録（編集）するメールのドメインを許可するかどうかを選択します。

## 3. パスワード オプション



ユーザが登録・ログインする時の  
パスワード構成（規定）を決めます。  
**(重要)**

- ・**最大リセット数**：一定時間内に許されるパスワードリセットの最大回数。ゼロは制限なし。
- ・**リセット時間**：リセットカウンターの時間（時間単位）。
- ・**最小長さ**：パスワードの最小長（桁）を設定。
- ・**最小整数個**：パスワードに含める必要がある整数の最小数を設定。
- ・**最小記号個数**：パスワードに必要な記号（!@#\$など）の最小数を設定。
- ・**大文字の最小個数**：パスワードに必要な英大文字の最小数を設定。
- J-4・**小文字の最小個数**：パスワードに必要な英小文字の最小数を設定。

#### 4. ユーザノートの履歴

ユーザノートは、ユーザ管理ページに個々にあります。  
 サイトの登録したユーザの管理記録として活用できます。  
 (例 クレーム、事故歴・違反歴、脱会時期・理由 等)



- ・**バージョンを有効にする**：このコンポーネントのバージョン履歴を保存するかどうか。「いいえ」の場合、コンポーネントアイテムまたはこのコンポーネントのカテゴリのバージョン履歴は保存されません。
- ・**最大バージョン**：アイテムに保存するバージョンの最大数。アイテムが保存され、バージョンの最大数に達した場合、最も古いバージョンが自動的に削除されます。0に設定すると、バージョンが自動的に削除されることはありません。また、特定のバージョンには「Keep Forever」のフラグが付けられ、自動的に削除されません。「バージョン履歴」画面の「削除」ボタンを使用して、バージョンを手動で削除できることに注意してください。

## 5. 一括メール送信ユーザ

- ・ **件名のプレフィックス**： 大量メールの件名の前に自動的に挿入されるオプションのテキストを入力します。
- ・ **メール本文のサフィックス**： 電子メールの本文の後に自動的に挿入されるオプションのテキスト（署名など）を入力します。

## 6. 統合

- ・ **カスタムフィールドを有効**： カスタムフィールドの作成を有効にします。

## 7. 権限 (パーミッション)

このセクションでは、ユーザーの権限構成を示します。デフォルトは次のようになります。

Public	アクション	新しい設定の選択	計算された設定
- Guest	ACLとオプションの設定	継承	未許可 (継承)
- Manager	オプション設定のみ	継承	未許可 (継承)
⋮ - Administrator	管理画面にアクセス	継承	未許可 (継承)
- Registered	作成	継承	未許可 (継承)
⋮ - Author	削除	継承	未許可 (継承)
⋮ - Editor	編集	継承	未許可 (継承)
⋮ - Publisher	状態の編集	継承	未許可 (継承)
- Super Users	カスタムフィールド値の編集	継承	未許可 (継承)

この設定ページは、グローバル設定で定めた権限を、個別に編集（上書き）するページです。

参考) このコンポーネントのアクセス許可を変更するには、次の操作を行います。

- ・ 左側にあるタイトルをクリックしてグループを選択します。
- ・ 目的のアクションを見つけます。可能なアクションは次のとおりです。
  - ACL とオプションを設定：ユーザーは、このコンポーネントのオプションと権限を編集できます。
  - オプション設定のみ：ユーザーは、このコンポーネントの権限以外のオプションを編集できます。
  - 管理画面にアクセス：ユーザーは、このコンポーネントの管理画面にアクセスできます。
  - 作成：ユーザーはコンテンツを作成できます。
  - 削除：ユーザーはコンテンツを削除できます。
  - 編集：ユーザーはコンテンツを編集できます。
  - 状態の編集：ユーザーは、コンテンツの公開状態と関連情報を変更できます。
  - カスタムフィールド値の編集：ユーザーはカスタムフィールドの値を編集できます。
- ・ 変更するアクションに必要な権限を選択します。可能な設定は次のとおりです。
  - 継承：グローバル構成権限からこのグループのユーザーに継承されます。

—許可：このグループのユーザーに許可されています。このアクションが上位レベルのいずれかで拒否されている場合、ここで許可されている権限は有効になりません。拒否された設定は上書きできません。

—拒否：このグループのユーザーは拒否されました。

- 上部のツールバーに保存をクリックします。画面が更新されると、[計算された設定]列に、このグループとアクションの有効な権限が表示されます。

以上

参考)

[https://docs.joomla.org/Special:MyLanguage/Help34:Components\\_Users\\_Configuration](https://docs.joomla.org/Special:MyLanguage/Help34:Components_Users_Configuration)